



## 「なぜなに」ってどういうの

### 「何ぞ何ぞ」がつまって、「なぜなに」となった

あなたは、なぜなにが得意ですか。

「立てば低くなり、座れば高くなるものなあに」とか、「朝は4本足、昼は2本足、夕は3本足の動物はなあに」というような、なぜなにをやったことがありますか。

答えは、最初が「天井」で、次が「人間」です。

このようなとんちでとく問題を、「なぜ」とか「なぜなに」といいます。

なぜななの「なぜ」は、「答えは何だ」と問いかけていることばです。この「何だ」ということばを、昔は、「何ぞ・何ぞ」と言ったのです。つまり、「なぜなに」ということばは、「何ぞ何ぞ」ということばがつまってできたものなのです。

「浦島太郎の玉手箱とかけて何ととく。大みそかととく。その心は、開けると年をとる」というようななぜななでもあります。このようなものを「三段なぜ」ともいいます。これも、ことばや文章の中にある意味をかくして問いかけ、その意味を当てさせるものです。

### なぜなににチャレンジしよう

「かけてもかけても前に進まないものなあに」

「新幹線と同じスピードでとぶ鳥はなあに」

「さかさまに名前をよぶとおこる動物はなあに」

答え< いす、電話、ぼうし、なぜなに>、< 窓ガラス>、< カバ>

(監修・田代 脩)

